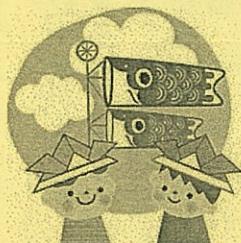
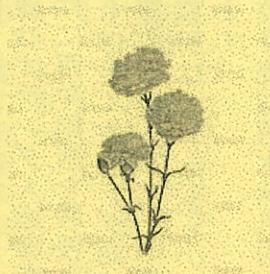


# 小島地区ふれあいセンターだより



令和7年5月 第419号 運営委員会発行

愛宕3丁目10-2 電話826-7703



## 5月の行事予定

※毎週月曜日は休所日です。

開催日	行事名	
6日(火)	小島地区ふれあいセンター運営委員会	午前10時~11時
7日(水)	すこやか運動教室(生涯元気事業)	午前10時~12時
9日(金)	小島愛宕地区老人連合会定例会議	午前10時~11時
13日(火)	小島中学校区青少年育成協議会総会	
21日(水)	すこやか運動教室(生涯元気事業)	午前10時~12時
24日(土)	小島地区民生委員児童委員協議会定例会 小島地区連合自治会連絡会議	午前10時30分~12時

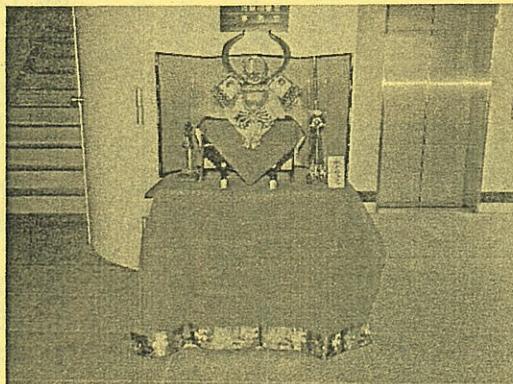
## 「端午の節句」について

「端午の節句」は、五月人形(鎧や兜)や鯉のぼりを飾ったり、柏餅や、ちまきを食べたり、菖蒲湯に入るなど、男の子の健やかな成長を願う日本の伝統行事です。

その起源は、中国の五節句の一つで、厄払いや邪氣祓いを行う風習が始まりとされています。鎧や兜は、武将にとって自分の身を守る大切な道具であり、武士のシンボルでもありました。柏餅は、柏の葉が新芽が出ないと、古い葉が落ちないことから、古来より子孫繁栄の縁起物として考えられてきました。ちまきは茅(ちがや)という葉っぱで、もち米を包んでいます。茅は魔除けとして使われていたそうです。

「小島地区ふれあいセンター」では、

4月上旬から5月5日の「こどもの日」まで1階ロビーに、五月人形を飾っています。



## 長崎 "てくてく" 町あるき 87 MK生

「小倉百人一首」を読み解く 竹方其

●江戸町から立山役所まで①

江戸町商店街の通り、元「長久市」通り。この通りが元々の県庁坂でした。ここから江戸町交差点を渡り、中央橋方面に少々下ります。左手の商店が高野屋です。「からすみ」の専門店です。からすみは、その形が唐(中国)の墨に似ている事から、その名前が付けられたと言われています。ここを左に曲がり、築町商店街側に向います。

小野原本店(こ)も「からすみ」専門店です)前を左に曲がると、下町の井戸と呼ばれる手押しポンプが付いた井戸があります。今も現役ですが、飲用には不可となっています。

○本木昌造宅跡。(元長崎グランドホテル跡地)

本木家は代々オランダ通詞役を務めていました。本木昌造(文政7年6月9日~明治8年9月3日)(1824~1875)もオランダ通詞となり、ペリー来航時には他の通訳者と共に江戸に上り通訳に当りました。また彼は、西洋の技術に着目し、西洋活字の鋳造、製鉄業、造船、航海業と多くの業績を残しています。

万延元年(1860)には飽の浦製鉄所(三菱造船所)の御用掛(のち頭取)となり、明治元年(1868)日本最初の鉄橋を架橋しました。(クロガネ橋)

また、日本における近代印刷の創始者と言われ、明治2年(1869)には活版伝習所の開設に漕ぎ着けています。

○旧外浦町由来碑。元亀2年(1571)の町建てで6つの街が誕生しました。誕生経緯を記載した碑がここに残されています。

○吉雄耕牛宅跡

道路の反対側の旧長崎県警本部跡地は、オランダ通詞 吉雄耕牛の自宅跡です。吉雄幸左衛門(享保9年~寛政12年)(1724~1800)は、53年間オランダ通詞を務めています。医学では外科を得意とし、商館医ツユンベリーにも指導を受け、吉雄耕牛の名で「吉雄流紅毛外科」を創始し、尿検査や梅毒の研究を開拓し、生徒の門人は600人に及びました。訳書には「和蘭(紅毛)流膏藥方」「正骨要訣」「布斂吉枕微瘡篇」「因液發備」など。

吉雄邸の2階にはオランダから輸入された家具が配され「阿蘭陀座敷」となりました。同邸では西洋暦のクリスマスに行なわれる、いわゆる「オランダ冬至」の宴も催されたと言われています。

二番歌(持統天皇)  
春過ぎて夏來にけらし白妙の衣ほすてふ天の香久山  
「語訳」  
いつの間にか春が過ぎて夏がやつて来たような気がする。  
夏になると真っ白な衣を干すという。  
天の香久山その衣がひるがえつて見えるのですから。

### 【留意点】

「春過ぎて夏來たるらし白妙の衣ほしたり天の香久山」「夏たるらし」: 夏が来るらしい。  
「夏來にけらし」: 夏が来たらしい。

両者には微妙な意味の違いがみられる。

天の香久山は奈良県橿原市にあり畝傍山、耳成山と並ぶ大和三山のひとつである。天上から降りてきたという神話があるので「天の香久山」と呼ぶが、持統天皇が政治を執り行つて藤原京からは、東南の方角にこの山が見られる。衣の洗濯の手をやらぬた時に眺められた。白妙とは、白い布のことをさす。おそらく当時は夏になると白い衣を着て干して干していたのであろう。現在も夏になると白地の衣類が夏には多く見られる。昔も今もあまり変わらない衣生活である。天智天皇が藁を編んだように、持統天皇も自ら洗濯をされた。これも庶民と同様に質素な暮らしを心掛けをされている、ということを意味している。

## 長崎 "てくてく" 町あるき 88 MK生

「小倉百人一首」を読み解く 竹方其

江戸町から立山役所まで②

○町年寄・高島家宅跡(長崎家庭裁判所・簡易裁判所)

長崎の町年寄、高島家歴代当主の宅跡です。(高島秋帆生家跡)

秋帆の高島家初代茂春は近江の国・高島郡・高島庄の出身で、一族離散により肥前の国 藤津郡に逃れ、翌年天正2年(1574)に長崎に移住。後に頭人の一人となりました。

茂春の子 茂定は元和元年(1615)長崎の町年寄となる。以後、高島家の当主が町年寄を世襲。茂定の子 茂卿は寛永13年(1636)に出島の建造費用出資者の出島町人の一人と名を連ねる。

高島秋帆が当主の時、天保9年(1838)大火で焼失しました。広さは1024坪。

・高島秋帆は寛政10年(1798)、長崎町年寄の高島茂起(四郎兵衛)の三男として生まれました。

・文化11年(1814)に父の跡を継ぎ、後に長崎会所調役頭取となつた。

・長崎で育つた秋帆は、日本砲術と西洋砲術の格差を知り愕然とする。

・出島のオランダ人を通じて、洋式砲術を学び、私費で銃器等を揃え、天保5年(1834)高島流砲術を完成させた。

・天保12年5月9日(1841年6月27日)武藏国徳丸ヶ原で日本初の洋式砲術と洋式銃陣の公開演習を行ないました。(板橋区高島平)

・この演習の結果、幕府からは砲術の専門家として重用され、高島流砲術は広まりました。

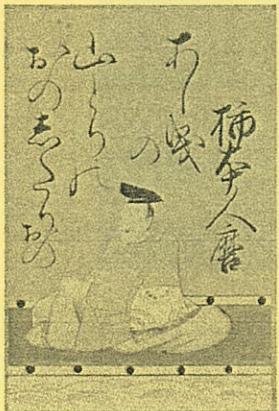
しかし、翌天保13年(1842)長崎会所の杜撰な運営の責任者として責めを負い、長崎奉行の伊沢政義に逮捕・投獄され、高島家は断絶になりました。

嘉永6年(1853)ペリー来航による社会情勢の変化により赦免され出獄。投獄前と考えを変え、開國・通商を行うべしとの主張を行い、幕府富士見宝

・砲術訓練はオランダ人指導者より「軍事用語は必ずオランダ語を使うこと」を条件に西洋砲術を教授された為、秋帆は師の命令を厳守し、門人に

・秋帆の墓所は2ヶ所あり、長崎は咲台寺、東京は文京区の大円寺に祀られています。

・戒名 咬月院殿碧水秋帆居士



# 令和7年度 お遊び教室 小島地区「子育て教室」

0歳児から未就園の子どもと保護者の集う場として、七夕まつりやクリスマスなどの季節の行事を盛り込んだスケジュールを組み、長崎市子育てサポート課の保育士と小島地区民生委員児童委員協議会の民生委員がお世話役を務めています。



事前の申し込みや参加費は要りません。

育児休業中で子どもと二人きりの子育てママさんや、子育てに不安や心配を抱えたまま相談する人がいないママさん、お子さんと一緒に身体を動かしたり、ママ友やスタッフとのおしゃべりで、楽しいひとときを過ごしませんか？ そして、リフレッシュした気持ちでお子さんに向き合いましょう。

私達スタッフは、たくさんの出逢いをお待ちしています。

活動場所	小島地区ふれあいセンター 2階 第1研修室 (長崎市愛宕3丁目10番2号) ☎ 095-826-7703
活動日時	毎月第1金曜日 午前10時～11時30分 (5月と1月は休み)
対象	0歳児から就学前のお子さんと、その保護者 (申込不要)
参加費	不要
主催	長崎市子育てサポート課 ☎ 095-829-1255 小島地区民生委員児童委員協議会 (主任児童委員 楠本、大橋) 社会福祉協議会 (小島支部・上小島支部・愛宕支部)

## [日程]

4/4 はじめまして手形をとろう	10/3 ハッピーハロウィン
5月 お休み	11/7 成長を祝って手形をとろう♪ 保健師さんのお話&育児相談
6/6 ママのリラックス体操	12/5 楽しいクリスマス サンタさんが来るよ♪
7/4 七夕まつり☆願いをこめて☆	1月 お休み
8/1 手作りおもちゃで遊ぼう	2/6 おひな様を作ろう
9/5 秋のミニ運動会	3/6 絵本の読み語り

※ タオル・お茶は、ご持参ください。ケガのないよう気を配りましょう。

都合により、内容が変更になる場合があります。また、悪天候の場合、中止になることもあります。

(七夕飾りを作ろう)

(おひな様を作ろう)

